

様式1

福祉サービス第三者評価結果報告書  
【児童福祉分野（保育所）】

【受審施設・事業所情報】

事業所名称	四貫島保育園	
運営法人名称	社会福祉法人 なみはや福祉会	
福祉サービスの種別	保育所	
代表者氏名	園長 西岡りえ子	
定員（利用人数）	98 名（80名）	
事業所所在地	〒 554-0013 大阪市此花区梅香3-7-2	
電話番号	06 - 6468 - 0006	
FAX番号	06 - 6468 - 0351	
ホームページアドレス	<a href="http://namihaya.or.jp/shikanjiima">http://namihaya.or.jp/shikanjiima</a>	
電子メールアドレス	<a href="mailto:shikanzima@eos.ocn.ne.jp">shikanzima@eos.ocn.ne.jp</a>	
事業開始年月日	平成30年11月1日	
職員・従業員数※	正規 7 名	非正規 6 名
専門職員※	保育士 9名 調理師 2名	
施設・設備の概要※	[居室]	
	[設備等] 保育室 6室（0歳児、1歳児、2歳児、3歳児 4歳児、5歳児） 沐浴室、調乳室、多目的室、図書室、調理室、 事務室、下足室、倉庫5、トイレ7、 屋上園庭3、プール	

※印の項目については、定義等を最終頁に記載しています。

【第三者評価の受審状況】

受審回数	1 回
前回の受審時期	平成 22 年度

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する事業所の同意の有無	有
---------------------	---

## 【理念・基本方針】

### 【保育理念】

子どもを愛し、守り、ともに生きることを喜ぶ人達になる。

### 【保育方針】

子どものありのままの姿を受け入れ、自立の力、自律の心を育てる。

### 【子ども像】

- ・意欲的に遊んだり生活することも
- ・豊かな感性や想像力をもった子ども
- ・違いを認め合い相手の立場を考えたり思いやったりできる子ども

## 【施設・事業所の特徴的な取組】

### ○食育に力を入れている。

- ・給食・おやつは手作りで、保育園の給食室で作って配膳している。
- ・和食を中心とした昼食を心がけている。
- ・全クラス陶器の食器を使い、家庭的な雰囲気の中で食事ができるように工夫している。
- ・園庭で、焼き芋・カレーライス・お餅つき・芋汁などを、子ども達と一緒に作っている。子どもたちが特に夏野菜を大切にし、給食の中に取り入れてもらって自分達で食べるようにしている。

### ○一人ひとりの育ちを大切にしている。

- ・園庭と3つの屋上園庭があり、毎日、園庭で体力作りを行っている。
- ・素足保育・ぞうり保育を1歳から5歳まで行っている。
- ・体幹を鍛えるために、体育教室・リトミックを取り入れ、5歳児はドッジボールに力を入れている。また竹馬や大縄跳びなども取り入れている。
- ・できるだけ園庭で遊び、また近くのグラウンドを使用して体力作りを行っている。（リレー・ゲームなど）
- ・図書室があり、月2回絵本の貸し出しを行っており、絵本の好きな子が増えてきている。

### ○異年齢との交流を取り入れて保育を行っている。

- ・子どもの人数が少ないため、自然と大きい子が小さい子の面倒を見ている。例えば、行事の時の階段の上り下りの手伝い午睡時のトントン当番、起きてからのお手伝いを進んで行っている。
- ・3～5歳児は3グループに分けて、そのグループで異年齢交流を行い、給食も一緒に食べている。
- ・今は一人っ子が多い時代で、兄弟で過ごすことが少ないが、当園では、子どもの人数が少ないために異年齢交流がより密になり、小さな子どもに刺激が与えられ、大きな子には人を思いやる気持ちが育ってきている。

**【評価機関情報】**

第三者評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ
大阪府認証番号	270012
評価実施期間	令和元年6月3日～令和2年2月12日
評価決定年月日	令和2年2月12日
評価調査者（役割）	1501C006（運営管理委員） 0801C027（運営管理・専門職委員） （ ） （ ） （ ）

## 【総評】

### ◆評価機関総合コメント

・運営主体の社会福祉法人なみはや福祉会は、1970年に設立された財団法人大阪保育園事業団に端を発し、1997年に現在の組織に変更し、2005年から大阪市立保育所の運営受託を開始した。現在、運営受託を含めて大阪市内に36の保育所・園を運営している。四貴島保育園は1967年に開設され、2008年に大阪市から同法人に運営委託され、2018年11月に園舎を新築して大阪市から移管されたばかりである。

・当保育園は、最寄りの私鉄駅から約500m離れた住宅密集地の中にあり、地域に根差した歴史ある保育園として、地域の未就園児への園庭・保育室の開放、子育て相談の実施、地域行事への参加、近隣の小学校・保育所との交流など、地域との交流は盛んである。

・ピンク色を基調とした明るい雰囲気のある保育園で、子ども達が使いやすい下足室や、多くの本を集積できる図書室を設置し、また、1階の園庭のほかに屋上園庭が3か所（2・3・4階）あり、子ども達が伸び伸び遊べる環境となっている。

・大阪市からの移管後、公立としての良いところを継承しながら、保護者の意見・要望や外部からの情報などを取り入れて、より良い保育園を創って行こうとする、園長・主任の積極的な姿勢が窺える。

### ◆特に評価の高い点

・新築開園間もない中で、第三者評価を受審して、より良い運営に活かしていこうとする前向きな姿勢が窺え、男性保育士(2名)を含む少ない職員数で、協力し合って運営している。

・図書室が設置され、月2回絵本の貸し出しを行って、親子で絵本を楽しむ機会を作っている。

・独自の調理室で、調理員が子ども達の喫食状況を把握して献立し、できるだけ旬の野菜を取り入れた和食を中心とした給食を提供しているため、保護者の満足度も高い。

・園長の発案で、子ども一人ひとりの興味を引き出す言葉かけ「なんと！なんと！」を保育に活かし、延長保育時間もできるだけ戸外で、異年齢児が混じり合って遊び、また、素足でぞうりを履く保育に取り組んでいる。

・困難ケースの子ども達がいる中で、園長・主任を中心に、保護者との懇談や対応を迅速に行っている。

### ◆改善を求められる点

・中長期計画を基に、数値目標や具体的な成果などを設定し、事業内容が詳しくわかりやすい内容で、単年度計画を策定することを望む。

・保育内容（遊び・トイレ・食事・知育など）・アレルギー・事故対応・緊急対応・防災・接遇など、園内研修を実施することを望む。

・子ども達や職員の健康を増進するために、看護師の配置を望む。

・地域のボランティアを積極的に活用すること、また、地域の民生委員・児童委員などと連携して、地域の福祉ニーズ等の把握に努め、積極的に地域貢献することを望む。

#### ◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

2日間ありがとうございました。  
高評価の所は今以上に子ども達の為に色々工夫して行き、子ども達とともに育って行きたいと思っています。  
課題につきましては、職員の先生方と話し合いながらより良い研修をおこなって行き、知識を高めていきたいと思っております。

#### ◆第三者評価結果

・別紙「第三者評価結果」を参照

## 第三者評価結果

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

		評価結果
Ⅰ-1 理念・基本方針		
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念・方針・目標（子どもの姿）は、ホームページ・パンフレット・保育園のしおり・中長期計画・保育課程に掲載し、掲示板・事務所にも掲示している。法人理念も、法人ホームページ・パンフレット・しおりに掲載している。</li> <li>・保育理念・方針・目標は、入園時の重要事項説明時やクラス懇談会で、クラスの保育につながるよう、保護者にわかりやすく説明して周知している。</li> <li>・職員には、職員会議や研修で説明し、職員が同じ方向を向いて保育するよう、周知して意思統一している。</li> </ul>	
		評価結果
Ⅰ-2 経営状況の把握		
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市私立保育連盟（私保連）西ブロック会議、区の社会福祉協議会（社協）に参加し、社会福祉事業全体や地域の社会福祉の動向を把握し、法人の施設長会議などでも、各園が属する地域の動向を情報交換して分析している。</li> <li>・区役所と連携し、地域の待機児童を把握して保育ニーズに対応している。</li> <li>・毎月、園の支出表を作成し会計事務所の指導を得てコスト分析を行っている。</li> </ul>	
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月試算表を作成し、会計事務所のアドバイスを受けて経営課題を把握し、法人の監事・理事・事務局に報告しながら経営管理を行っている。</li> <li>・事業内容の反省を踏まえて、保育環境・保育内容・職員配置などについて職員会議で話し合い、改善するよう努めている。</li> <li>・現在、定員に満たない子ども数で、その分委託料収入が少ないため、経費節減に努めて収支のバランスを取り、安定した経営を維持するよう努めている。</li> </ul>	
		評価結果
Ⅰ-3 事業計画の策定		
Ⅰ-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	Ⅰ-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度～33年度5か年の「四貫島保育園中長期計画」を策定しており、地域貢献・財務・利用者・保育内容・人材育成・施設設備・備品整備の各項目について、現状と課題・5年後の目標・対処方針・各年度の取り組みを簡潔に記載している。</li> <li>・今後は、中長期収支計画も策定し、中長期事業計画と共に、年度毎に実施状況をチェックして見直すことを望む。</li> </ul>	

5	I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単年度事業計画は、法人各園共通のフォーマットで、特別保育・保育の主な取り組み・職員研修計画・地域との交流連携などについて、簡潔に記載している。また別途、年間の指導計画・行事予定・職員研修計画・保健計画・安全計画・避難訓練計画・食育計画・給食目標を策定している。また、園の単年度収支計画を作成している。</li> <li>・今後は、中長期計画を基に、数値目標や具体的な成果などを設定し、事業内容すべてが詳しく分かりやすい内容で、単年度計画を策定することを望む。</li> </ul>	
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。			
6	I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期・単年度事業計画とも、園長が中心になって主任とともに作成し、職員会議で職員に説明して理解と周知を図っている。</li> <li>・今回の第三者評価で、計画書を職員に配付することを期待する。</li> <li>・今後は、職員が参加して、事業計画の実施状況を評価・反省し、次年度の計画を職員と一緒に作成し、計画書を職員に配付して周知することを期待する。</li> </ul>	
7	I-3-(2)-②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間行事予定表を保護者に配付するとともに、事業計画の主な内容は、保護者会や懇談会で説明して理解を得るよう努めている。</li> <li>・今後は、子どもと保護者に密接に関係する年間計画（保健・安全・食育・給食など）も保護者に配付し、また、事業計画中の保育・環境整備（施設・設備）など、子どもと保護者に密接に関わる事項をわかりやすく説明した文書を作成して、保護者に周知することを望む。</li> </ul>	

	<b>評価結果</b>
--	-------------

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組			
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			
8	I-4-(1)-①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、保育士が「保育士自己評価表」で自己評価を行い、全保育士分を集約して園全体の総合評価としている。今回の第三者評価にあたっては、園長が中心になって主任とともに作成し、職員会議で職員に説明して話合った。</li> <li>・年間・月間・週間の各指導計画には「評価・反省」欄があり、前期の反省を基に、クラス毎にリーダーが中心になって次期計画を立案し、職員会議に諮って決定している。また、法人の施設長会議で、指導計画について情報交換し、保育の質の向上につなげている。</li> <li>・近くの保育所と交流保育を行っているが、今後は、大阪市内に多くの姉妹園がある利点を活かして、法人内保育交流を充実し保育の質の向上をさらに図ることを期待する。</li> </ul>	

9	I-4-(1)-②	評価結果にもとづき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種評価結果で明らかになった課題は、職員会議で話し合って改善している。</li> <li>・運動会・発表会・給食参加時に保護者アンケートを行い、出された意見を職員会議で検討して、実施・改善に反映している。</li> <li>・療育センター・保健福祉センター・子ども相談センターなど専門機関の指導を受けて、支援を要する子どもの個別計画などの立案や改善に活かしている。</li> <li>・課題を抽出し職員も参加する中で改善策を検討されているが、これらをPDCA【Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）】サイクルの手法を用い、恒常的な計画・実行・点検・改善実行のルール化を導入されることを期待する。</li> </ul>	

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

			評価結果
Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ			
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
10	Ⅱ-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は保護者に対して子ども発表会の時に、自らの取り組み姿勢や考えを表明している。</li> <li>・有事（災害時・事故など）のマニュアルに、園長の役割と責任を明記している。また、園長の代行者を主任と設定している。</li> <li>・今後は、「業務分掌表」を作成し、園長をはじめ職務ごとの分掌業務の概要を明記し、職員に周知することを望む。また、園だよりなど家族への配付物を活用して、園長の取り組み姿勢や考えを伝えることを期待する。</li> </ul>	
11	Ⅱ-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は、外部や法人の研修会・勉強会に参加し、遵守すべき法令などの情報を収集し、理解している。</li> <li>・コンプライアンス担当者を主任、責任者を園長、公益通報窓口を法人の事務局長と設定して、職員に周知している。</li> <li>・今後は、コンプライアンス（法令遵守）マニュアルを作成するとともに、「遵守すべき法令」集を作成し、法人に法令ファイルを整備し、必要に応じて回覧や研修などで職員に周知する体制を取ることを望む。</li> </ul>	
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
12	Ⅱ-1-(2)-①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内に職員・週案・ケース・食育・献立の各会議体を設置し、また、職員の担当表を作成し、司会・書記・行事・各種係の担当者を決めて、職員参加で保育の質を向上させる体制を構築している。</li> <li>・職員個別の外部研修への参加や園内研修を実施し、近くの保育所と交流保育（リトミック・ドッジボール・人形劇など）や情報交換も行って、職員の知識・スキルの向上を図り、保育の質の向上につなげている。</li> <li>・園長は、豊富な経験や知識と高い意欲を持ち、指導力を発揮して、保育の質の向上に取り組んでいることが、ヒヤリングで窺えた。</li> </ul>	



13	II-1-(2)-②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は、法人や私保連の施設長研修、市の公立・私立合同研修会などに参加して、自らのスキルアップを図るとともに、随時職員に指導している。</li> <li>・法人の施設長会議で意見交換して、経営の改善や業務の実効性の向上を図っている。また、外部の会計事務所から、財務・労務に関する指導を受けて改善している。</li> <li>・事務所にパソコン4台を設置しているが、今後は、これをネットワーク化し、法人とも接続して、さらに業務効率を高めることを期待する。</li> </ul>	

	<b>評価結果</b>
--	-------------

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

14	II-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人に「職員採用委員会」を設置し、大学の合同説明会、私保連・人材派遣会社の就職フェア、養成校訪問、ホームページなどで人材確保を図っている。</li> <li>・法人の「人事基準ステップアップ規定」に基づいて、キャリアアップを意識した組織体制を作って職務分担し、リーダーを育成するなど、人材育成を図っている。</li> <li>・職員の希望に応じて雇用形態を職員の希望により（正規職員⇄非正規職員）できる体制になっており、また、65歳までの再雇用制度（嘱託）を導入して、定着化に結び付けている。</li> </ul>	

15	II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用形態（正規・嘱託・有期契約・無期契約）に沿った就業規則や規程、育児・介護休業規程やその他人事関係規程を整備し、職務等級制度を導入して総合的な人事管理を行っている。</li> <li>・管理者は自己評価表に基づいて職員面談し、また日々の行動を観察・チェックして評価し、処遇に結び付けている。</li> <li>・今後は、目標管理も含めた人事考課表を作成して、人事考課することが望まれる。また、自らの将来像が描けるようなキャリアパスの仕組みを構築することを期待する。</li> </ul>	

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

16	II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有給休暇は半日単位の取得も可能で、月1回は取得するようにして、ほぼ100%取得しており、4日間の夏季休暇も全員が取得している。また、時間外労働は1人平均月2～3時間(内2時間は職員会議)と少なく、ワークライフバランスがとれている。</li> <li>・年1～2回の面談や日常的なコミュニケーションの中で、職員の要望を把握するとともに、園長・主任が窓口となって個々の悩み相談に応じ、心身ともに働きやすい環境を作っている。</li> <li>・福利厚生として、インフルエンザ予防接種の費用補助を行っている。</li> </ul>	

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17 II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 b

(コメント)

- ・外部研修に参加した職員は、報告書を作成して報告や伝達研修を行い、自ら研修内容を確認するとともに、職員間で共有している。
- ・職員の自己評価チェック表と個人目標を基に、四半期毎に評価し、面談して達成度を話し合っ、次期の目標設定につなげている。全職員の自己評価を集約して、園全体の評価表を作成している。
- ・今後は、目標項目・目標水準・目標期限を明確にした目標管理シートを作成し、年度初め・中間・年度末に面談して確認・指導する体制作りを期待する。

18 II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。 b

(コメント)

- ・私保連の研修を中心に年間職員研修計画を作成し、保育士・調理師ごとに研修の基本方針を明記し、研修の趣旨・目的に沿って、正規職員全員が研修に参加している。また、新しい保育課程の作成について、園内研修を行っている。
- ・法人主催の職員研修がないため、保育内容（遊び・トイレ・食事・知育など）・アレルギー・事故対応・緊急対応・防災・接遇など、園内事例を用いて内部研修を実施することを望む。

19 II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。 b

(コメント)

- ・正規職員全員が年に1回は研修に参加し、報告書を作成して職員会議で報告し、内容によっては、非常勤職員も参加して伝達研修で周知している。
- ・新任職員には、主任が指導者となって、個別にOJTを実施している。
- ・今後は、同年齢クラス間の法人内保育交流、担当する年齢児の保育内容の研修、個人の要望に沿った外部研修、専門家による要支援児童への保育指導など、職員一人ひとりが学ぶ機会をできるだけ増やすことを期待する。

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

20 II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 a

(コメント)

- ・実習生の受け入れ責任者を園長、担当者を主任・クラス担任とし、実習を模した体験プログラムを用意している。
- ・実習生のマニュアルと服務心得に沿ってオリエンテーションを行い、健康チェックも行っている。また、事前に保護者や職員に実習受け入れ期間などを周知して、実効が上がるよう配慮している。
- ・実習期間中には学校担当者が園に訪れ、実習生と面談して支援している。過去の受け入れ実績はあるが、今年度は先方の要望がなく実施していない。

## 評価結果

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

21 II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 b

(コメント)

- ・園のホームページやパンフレットで、保育理念・方針・目標、年間行事・デイリープログラム・見取り図・特別保育事業などを公開している。
- ・法人ホームページでは、概要・沿革・施設一覧・定款・役員報酬規程・役員名簿・苦情解決体制・苦情処理内容・個人情報保護方針などを公開しているが、さらに、事業報告書や予算・決算の財務諸表も公開することを望む。

22	II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「経理規程」「公印管理規定」「決済規程」を策定し、園長と主任が会計・出納責任者となって、透明性の高い運営を行っている。</li> <li>・本部の会計担当者が、園からの提出書類をチェック・指導している。</li> <li>・経営・運営状況を会計事務所に報告し、また、法人・園とも外部監査を実施し、指導を受けて改善を図っている。</li> <li>・今後、外部監査結果も含めた財務資料を可能な範囲でホームページに掲載されることを期待する。</li> </ul>	

	<b>評価結果</b>
--	-------------

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

23	II-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のアレルギー・ぜんそく教室、子ども検診、区民祭りなどの案内を掲示板に掲示して、保護者に知らせている。</li> <li>・区の子ども祭りや地域の運動会・避難訓練に、子どもと一緒に参加して交流している。また、正月の互例会で地域の役員と挨拶を交わしている。</li> <li>・近くの保育所と交流保育し、近隣の小学校の積み木教室・作品展・発表会を見学して交流している。また、月2回（第2・第4火曜日）、地域の数人に年長クラスに入ってもらって交流している。</li> </ul>	
24	II-4-(1)-②	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ボランティア受け入れマニュアル」「職場体験実施要領」を作成し、主任を受け入れ担当者として、事前説明を行って受け入れている。</li> <li>・区社協・私保連を通じて、保育専門学校の保育ボランティア2名と、中学生3名の職場体験を受け入れている。</li> <li>・今後は、区社協や区役所などと連携して、絵本読み聞かせや各種演芸・物作りなど、ボランティアを積極的に受け入れることを期待する。</li> </ul>	

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

25	II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の保健計画・安全計画などに、地域との連携を明記して取り組んでいる。</li> <li>・「関係機関への連絡方法」（機関名と電話番号表）を作成して職員に周知し、各クラスにも掲示して保護者に周知している。</li> <li>・区の社協・保育施設連絡会や私保連西ブロック会議で情報を共有し、随時区役所や子ども相談センターとも連携している。</li> <li>・気になる家庭については、児童相談所・要保護対策協議会・警察などと連携して、保護者の気持ちに寄り添って支援している。</li> </ul>	

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

26	II-4-(3)-①	保育所が有する機能を地域に還元している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第2・第4火曜日に、地域交流として保育室・園庭を開放し、園庭遊びを年14回、水遊びを2回、お正月遊びを年1回、計17回実施して、約100名が参加し、また、園の行事や「親子で遊ぼう」に参加を呼びかけて、地域の未就園児と交流している。</li> <li>・園開放時には、保健センターの保健師が、参加者に健康管理に関する情報提供や指導を行っている。</li> </ul>	

27	Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流時や日常の電話受付で、子育て相談に応じており、必要に応じて関係機関に取り次いでいる。また、卒園生の保護者から、小学校での悩みなどの相談を受け、解消に向けて支援している。</li> <li>・AEDを設置し、玄関に掲示して案内し、必要に応じて貸し出す用意がある。</li> <li>・今後は、地域の民生委員・児童委員などと連携して、地域の福祉ニーズの把握に努め、積極的に地域貢献することを期待する。</li> </ul>	

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

			評価結果
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス			
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
28	Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人理念や保育理念・方針に、子どもの最善の利益追求や子どもを尊重する内容を盛り込み、全職員で理解を深めて実践している。</li> <li>・外部の人権研修に参加し、研修報告で全職員に周知している。</li> <li>・生活環境や成長の過程によって、子どもの個人差があることを認識し、一人ひとりの育ちを大切にされた保育に努めている。また、個々の子どもを人間として尊重し、安易に怒らないなどに留意している。</li> <li>・外国籍の子どもには、その国の文化（食事マナー・食事内容など）を尊重して対応している。</li> </ul>	
29	Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童虐待マニュアル」を作成し、研修などで職員に周知している。</li> <li>・幼児の着替え時には、男女別スペースを使用し、屋上のプール使用時はフェンスに目隠しして外部と遮り、幼児トイレの下はカーテンで遮るなど、プライバシー保護には十分留意している。</li> <li>・個人情報保護規定は作成しているが、さらに子どものプライバシー保護に関するマニュアル・規程を作成して職員に周知し、取り組みを充実することを期待する。</li> </ul>	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。			
30	Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットを区役所やイベント会場に設置し、広く案内している。</li> <li>・園のホームページ・パンフレットには、保育理念・方針・目標、年間行事・デイリープログラム・見取り図・事業をわかりやすく掲載している。</li> <li>・見学や事前説明時は、パンフレットを用いて丁寧に説明し、園全体を案内してもらっている。</li> <li>・地域交流時に、1時間ほど保育体験をして理解を深めてもらっている。</li> </ul>	
31	Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時に重要事項説明書を用いて丁寧に説明し、同意書を得ている。また、入園時説明の後に個人面談を行い、意見・要望を聞いたり、不安解消に努めている。今回の保護者アンケートでも回答者全員が、「入園時に保育内容・方法の説明があった」と答え、ほとんどの人が、「子どもを預ける不安が軽減した」と答えている。</li> <li>・アレルギー・てんかん・障がいなど、個別対応が必要な子どもの保護者には、対応マニュアル（アレルギー・与薬など）に沿って説明している。</li> <li>・保育の変更時には、園内掲示や一斉メールで保護者に周知し、確認してもらったかをチェックして、未確認の保護者には個人的に説明している。</li> </ul>	



32	Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所などの変更に当たっては、個別に保育要録を作成し、転出先や小学校に送付して引き継いでいる。また、要支援の子どもについては、先方の担当者に直接会って確実に引き継いでいる。</li> <li>・卒園式時に、卒園後も園の子育て相談窓口を利用できることを保護者に伝えていく。</li> <li>・9月に卒園児招待日を設定して案内し、ほぼ全員が参加して、お祭りも行っている。また、夏祭り・運動会・発表会にも卒園児を招待している。</li> <li>・卒園後も園とのつながりが深く、卒園児の「心のふるさと」になっている。</li> </ul>	
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。			
33	Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者参加の機会として、保育参加・給食参加・プール参加・運動会・発表会・個人懇談会・クラス懇談会（同時にビデオ参観）・「おじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう」を実施し、保育ニーズを把握したり、利用者満足の向上を図っている。今回の保護者アンケートでも、ほとんどの人が、「保育に参加する機会がある」と答えている。</li> <li>・運動会・発表会・給食参加の時に、保護者アンケートを行い、出された意見への対応を職員会議で分析・検討し、必要に応じて改善している。</li> <li>・保護者会からの要望を分析・検討し、必要に応じて改善してフィードバックしている。</li> </ul>	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
34	Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談苦情解決責任者を園長、受付担当者をリーダー保育士とし、第三者委員2名を設置して、法人ホームページと重要事項説明書で保護者に周知している。</li> <li>・「苦情解決対応マニュアル」を作成し、対応手順などを職員に周知している。</li> <li>・苦情処理については法人ホームページで公表し、匿名の場合は掲示板で対応内容を回答することになっているが、現在は該当事例はない。</li> </ul>	
35	Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員の写真を掲示板で紹介し、意見を述べやすいよう配慮している。</li> <li>・保護者が相談しやすいよう、図書室や空いている保育室を利用して対応している。</li> <li>・送迎時・連絡帳・懇談・保護者会・アンケートなど、相談や意見を受ける機会を多く作っているが、今後は、どの保護者にも目につく玄関に意見箱を設置することを望む。</li> </ul>	
36	Ⅲ-1-(4)-③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「苦情解決対応マニュアル」に基づいて、組織的かつ迅速に対応している。</li> <li>・保護者からの相談や意見には、担任→主任→園長の順で対応し、必要に応じて職員会議に報告して対応を検討し、「育児相談」記録ファイルなどに記録している。</li> <li>・保護者からの意見を反映して、今年度から試食会を実施している。</li> </ul>	

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

37 Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。 a

(コメント)

- ・「危機管理マニュアル」「事故発生時マニュアル」「事故防止及び事故発生時対応マニュアル」「誤嚥誤飲マニュアル」「誤食発生時の対応マニュアル」「園庭遊具の安全管理と遊び方」「不審者対応マニュアル」などを作成し、安全管理研修などで職員に周知し、実践している。
- ・「安全の計画」を作成し、「毎日行うもの」「毎月行うもの」「随時行うもの」「家庭・地域との連携」の項目で、四半期毎の取り組みを計画・実行している。
- ・警察署の指導による安全教室や不審者訓練を実施し、区の交通安全クラブによる寸劇を見て、安全に対する意識を高めている。また、消防署指導による心肺蘇生法・AED使用法・エピペン（アレルギーショックに対する緊急補助治療薬）使用法の講習を受け、職員全員がスキルを習得している。
- ・月1回、安全チェックリストで園庭や保育室など全般をチェックしている。また、子どもが口にするおもちゃは毎日消毒している。
- ・ヒヤリハット・事故報告書を作成して要因を分析し、改善や再発防止に努めている。
- ・セキュリティ会社の防犯システムを導入し、4台の防犯カメラのモニター画面を事務所に設置して監視している。

38 Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 a

(コメント)

- ・大阪市の「子どもの保健」や「子どもの健康管理・感染症マニュアル」を整備し、感染症予防や発生時の対応を職員に周知している。
- ・市や区のサーベイランス（発生状況の調査）情報を職員や保護者に周知し、感染症が広がる恐れがある時は、嘱託医の指導を仰いで対応している。
- ・感染症が発生した場合は、掲示板や一斉メールで、病名・人数を保護者に知らせ、注意を促している。また、一斉メールを活用して感染症予防について保護者に働きかけている。

39 Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。 b

(コメント)

- ・「避難マニュアル（火災・地震・不審者）」を作成して職員に周知し、対応の体制や方法を確認している。
- ・年間の避難訓練予定表を作成し、毎月1回様々な災害（火災・不審者・地震・地震→火災）を想定して避難訓練を実施している。海拔－1mに立地し、近くに高い建物がないため、津波時には、安全な4階屋上に避難することになっている。
- ・職員のグループラインで連絡網を整備し、避難訓練や災害時には、一斉メールで保護者に周知している。また、「緊急連絡引き渡しカード」を作成して、保護者の避難場所を明記して、子どもを確実に引き渡す体制を整えている。今後は、子どもの引き渡し訓練も実施することを期待する。
- ・地域の防災訓練に参加して、災害の園への影響も情報収集している。
- ・飲料水・食料・紙コップ・アルミホイルなどを3日分備蓄している。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

40	Ⅲ-2-(1)-①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保育内容に関する全体的な計画」(保育課程)を作成し、職員全員で内容を検討し、職員の共通認識となるよう文章化している。それを基に、年間・月間・週間の各指導計画を年齢ごと作成して実施している。</li> <li>・日々の保育の中で重要な、健康管理・衛生管理・事故対応・児童虐待対応などについて、マニュアルを作成して対応している。</li> <li>・「保育(食事・排泄・睡眠)マニュアル」「プールマニュアル」「園庭遊具の遊び方(マニュアル)」「与薬マニュアル」「長時間・延長時間マニュアル」などを作成し、保育内容を標準化して実施している。</li> </ul>	
41	Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長・主任を中心に職員全員で保育課程を検証し、職員会議や週案会議・総括会議などで、全職員の意見や提案を取り入れる体制となっている。</li> <li>・年間・月間・週間の各指導計画には「評価・反省」欄があり、前期の反省を基に次期計画を立案し、職員会議に諮って決定している。各種マニュアルも、職員会議で評価・見直しを行っている。</li> <li>・全職員からの提案や指導計画の評価反省に限らず、標準的な実施方法を全面的かつ定期的に見直すシステムをPDCAサイクルの手法で取り組むように定着させることを期待する。</li> </ul>	

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

42	Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に職員会議・週案会議を開き、職員や保護者の意見を反映した個別指導計画を策定し、全職員で話し合って実践している。</li> <li>・児童表・健康手帖・懇談会記録などに基づいて、個別指導計画を作成している。また、支援が困難な子どもの場合は、全職員が参加するケース会議で対応を検討し、日常的に保育内容を評価・見直しをして、次期指導計画に反映している。</li> </ul>	
43	Ⅲ-2-(2)-②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月間・週間指導計画に「評価・反省」欄を設け、職員会議で定期的に評価・反省を行い、次期の計画策定に活かしている。</li> <li>・個別指導計画は保護者と懇談して内容を説明し、同意の署名・捺印を受けて実施している。また、実施内容について意見・要望があれば、次期の計画作成に反映している。</li> <li>・連絡ノート・懇談会(クラス・個人)・面談や保護者参加の行事などで得た、保護者の意見・要望を保育計画に反映している。</li> </ul>	

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

44	Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2歳クラスは個別指導計画を作成し、子ども一人ひとりの成長を記録している。また、発達の目安になるチェック表を半年ごとに記入し、子ども達の発達を見守りながら保育している。</li> <li>・支援困難なケースの子どもや外国籍の子どもを受け入れる中で、保護者の意向を尊重しながら懇談を持ち、作成した個別指導計画を職員に周知している。</li> </ul>	

45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人のホームページに、「個人情報保護方針」を掲載し、また、「個人情報保護規定」を策定して、研修などで職員に周知している。</li> <li>・入園時の重要事項説明書に個人情報の取り扱いについて保護者に説明し、外部への使用について「個人情報使用同意書」に署名・捺印を得ている。</li> <li>・個人情報に関する書類・記録は鍵のかかる書庫に保管し、持ち出し禁止としている。また、パソコン内の個人情報は、パスワードで管理している。</li> </ul>



## 児童福祉分野【保育所】の内容評価基準

		評価結果
A-1 保育内容		
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の保育理念・方針・目標に基づいた「保育内容に関する全体的な計画」(保育課程)は、法人の理念等に沿って、全職員が参画して作成している。</li> <li>保育課程は総括会議で評価し、子どもの状況の変化や家庭・地域の実態に沿った内容になるよう見直している。</li> </ul>	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内は、明るいピンク色を基調として、子ども達がアットホームで居心地良く過ごせる環境となっている。</li> <li>各保育室にエアコンと空気清浄機を設置し、温湿度計でチェックして、子ども達にとって常に快適な居場所となるよう留意している。</li> <li>定期的に玩具を消毒し、園内の安全整備や清掃を行って、安全で衛生的な環境づくりに努めている。</li> </ul>	
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの生育や家庭環境を把握し、子ども一人ひとりの成長に寄り添いながら、安心して過ごせる環境づくりをしている。</li> <li>人権研修などで得た知識・スキルを全職員に周知し、子ども一人ひとりの人権を尊重した言葉かけを行っている。</li> </ul>	
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの子どもの基本的な生活習慣が無理なく身に付くよう、成長に合わせた言葉かけや、自分からしようとする気持ちを大切に保育している。</li> <li>歯ブラシを使った歯磨きを指導していない中で、虫歯予防として毎食後にしっかりブクブクうがいを行い、手洗いも励行する習慣を身に付けて、自分で健康管理を行うよう指導することを望む。</li> </ul>	
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの成長に合った玩具を用意し、コーナー遊びを整備して、子ども達が自主的に遊べるような環境を整えている。</li> <li>戸外で遊ぶ機会を多く持ち、体育遊具や大型遊具を使って遊んだり、月2回体育教室(3~5歳児)に取り組んで、体をしっかり動かして遊ぶことを大切にしている。</li> <li>リトミック教育(2~5歳児)を取り入れ、色々な楽器に触れる機会を持ち、情感豊かに育つよう取り組んでいる。</li> </ul>	
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	—
(コメント)	(0歳児の在籍なし)	

A⑦	A-1-(2)-⑥	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アットホームな環境の中で、子ども達がゆったりと過ごせるようなおもちゃなどを配置して、遊びを通して友達との関わりを楽しめるよう保育している。</li> <li>・乳児室の隣に調理室があり、大きなガラス戸から、子どもの状況や体調に応じた給食が直接提供できる環境となっている。</li> <li>・子どもの成長を保護者とともに喜び合えるよう、日常的に情報交換や相談に応じたり、個人懇談・クラス懇談を行ったり、保護者が参加する機会（保育参加・給食参加・プール参加・運動会・発表会）を多く設けている。</li> </ul>	
A⑧	A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3～5歳児をグループ分けして、乳児の午睡時のトントン活動などの異年齢交流を行い、友だちに優しさや思いやりを持って関わることを学んでいる。調査当日も、大きい子が小さい子の靴の着脱を手伝っている姿が見られた。</li> <li>・4歳以上は、給食配膳・水やり・雑巾かけの当番を設け、子ども達が主体的に活動している。また、園庭で色々な花や野菜の栽培を行って、観察したり収穫して味わったりしている。</li> <li>・園外保育として散歩や遠足に出かけ、駅や図書館などの公共施設を利用して、社会のルールを身に付けるよう図っている。</li> </ul>	
A⑨	A-1-(2)-⑧	障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要な子どもの個別指導計画・個別支援計画を作成し、保護者と話し合っ確認の署名をもらって、子どもの成長を援助している。</li> <li>・外部の障がい児研修に参加し、伝達研修で職員間で共有して、日々の保育に活かしている。</li> <li>・療養センター・区保健福祉センターの指導・助言を受けたり、2～3か月に1回の市の巡回指導を受けて、職員間で共有して障がい児保育に活かしている。</li> </ul>	
A⑩	A-1-(2)-⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早朝保育（7：30～8：00）や合同保育（16：00～18：30）は、天気の良い日は園庭で行い、長時間保育となる子どもの状況に合わせておもちゃなどを配置し、安心して過ごせる環境を作っている。</li> <li>・子どもの様子を視診表に記入した上で、口頭で確認を取って職員間で引継いでいる。毎日の朝礼の中でも、引継ぎ内容や子どもへの対応について伝え合う場を設けている。</li> <li>・全職員が時差出勤して保護者との面接機会を確保する等、連携を十分に取っており、保護者から信頼を得ている。</li> </ul>	
A⑪	A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
	(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児の保育課程や年間指導計画に「小学校との連携」欄を設け、進学を見通して計画的に保育指導している。</li> <li>・子ども達が進学する近隣小学校を訪問し、授業参観、ドッジボールの試合、1年生の作品展の鑑賞、積み木教室、発表会に参加して体験し、園の運動会も小学校の校庭で実施し、小学校生活に期待が持てるよう図っている。</li> <li>・「保育所児童保育要録」を作成して小学校に送付し、教師に事前申し送りを行って、スムーズに就学できるよう連携している。</li> </ul>	

A-1-(3) 健康管理	
A⑫	<p>A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市の「子どもの保健」や「子どもの健康管理マニュアル」を整備し、園内研修などで職員に周知している。</li> <li>・「保健計画」を作成し、「毎日行うもの」「毎月行うもの」「随時行うもの」「家庭・地域との連携」の項目で、四半期毎の取り組み内容を計画・実行している。</li> <li>・入園説明会でSIDS（乳幼児突然死症候群）について保護者に伝え、ポスターなどでも周知している。午睡用マットは安全な物を使い、睡眠チェックは、1歳児は5分ごと、2歳児以上は10分ごとに行って、SIDS防止に努めている。</li> <li>・「保健だより」を一斉メールで保護者に随時配信し、感染症や保健に関する情報を提供して啓発している。</li> <li>・子ども達の健康増進のため、2歳児以上は素足で「ぞうり保育」を行っている。</li> </ul>
A⑬	<p>A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科健診を乳児は年3回、幼児は年2回、歯科健診・尿検査（2歳児から）を各々年1回実施して、健康手帖に記録して保護者に知らせ、必要に応じて受診してもらっている。また、保護者が気になることがある場合は、主治医に相談して結果を保護者に知らせ、安心してもらっている。</li> <li>・健診結果を職員会議で周知し、主治医とカンファレンスして、保育に反映している。</li> <li>・今後は、中長期計画にある法人の巡回看護師の採用を実現し、さらに充実した保健計画の策定と、子ども達や職員のより一層の健康増進を図ることを望む。</li> </ul>
A⑭	<p>A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アレルギー対応マニュアル」を作成し、園内研修などで職員に周知している。</li> <li>・医師の指示書に基づいて、アレルギー懇談を行って保護者と連携し、アレルギー疾患や慢性疾患に対応している。また、保護者にアレルギー調査を行い、献立表をチェックしてもらって提供している。</li> <li>・食事の提供時は、誤食がないように机やプレートを区別して、食器には名札を付け、配膳時は複数の職員がチェック表で確認している。</li> </ul>
A-1-(4) 食事	
A⑮	<p>A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。</p> <p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「給食年間目標」を作成し、年齢ごと・四半期ごとの「ねらい・内容」と、食育・アレルギー・栄養・衛生面の項目で計画・実行している。</li> <li>・旬の食材を用い、季節感のある献立を提供し、様々な季節の行事食も提供している。また、全クラスが屋上で栽培したトマトなどの野菜を料理に使ったり、様々なお菓子などのクッキング活動を行って、子ども達が食事に関心を持つように工夫している。</li> <li>・全園児が陶器の食器を使用して質感を育み、年齢や個人差に応じたスプーンや箸を使用している。</li> </ul>

A⑩	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「給食衛生管理マニュアル」を作成し、調理師が職員研修や食育研修を行って、安全でおいしい給食について職員に周知している。</li> <li>・2名の調理師が、子ども達の離乳食・給食の喫食状況を見て回り、好き嫌いなどを把握して献立会議で話し合い、事後の献立に役立てるよう努めている。</li> <li>・毎月「おなかのーと」（給食だより）を保護者に配付して、食に関する情報提供や啓発を行っている。また、子どもが好きな食事のレシピを保護者に提供して、家庭での食事づくりに活かしてもらっている。</li> <li>・玄関に給食サンプルケースを設置し、保護者への食育の働きかけとして、給食の試食会を実施している。</li> </ul>	

	評価結果
--	------

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携

A⑪	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画・月間指導計画・保健計画・安全計画に「家庭との連携（支援）」欄を設け、家庭との連携を重視した保育を計画・実施している。また、家庭支援研修を実施し、家庭支援に必要な内容を話し合っている。</li> <li>・送迎時の保護者との情報交換に加え、乳児は「おいたちの記」連絡ノートで、保育内容や子どもの体調・喫食状況を伝えて家庭との連携を取り、幼児は公開日誌で日々の保育や子どもの様子を伝えている。</li> <li>・保育参加・給食参加・プール参加・運動会・発表会・個人懇談会・クラス懇談会など、保護者が参加する機会を多く設け、理解と協力を得ている。</li> <li>・園だより・クラスだより・給食だより・献立表などで、園の様子や関連情報を提供し、写真掲示やビデオ参観でも子どもの様子を伝えている。</li> <li>・月2回絵本の貸し出しを行い、家庭で絵本を読み聞かせる支援をしている。</li> </ul>	

A-2-(2) 保護者等の支援

A⑫	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が時差出勤し保護者と接する機会を確保し、保護者との信頼関係を築くよう積極的に声かけしている。また、園長・主任が積極的に子育て相談や支援を行っている。</li> <li>・保護者からの相談内容を記録して職員が話し合い、適切な助言ができるよう努めている。</li> </ul>	
A⑬	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b
(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止や発見時の対応に関する「虐待マニュアル」を作成して研修で全職員に周知している。</li> <li>・子どもの小さなサインを見逃さないよう、午睡前の服の着脱時や登降園時の子どもの様子を丁寧に観察して、虐待の早期発見に努めている。</li> <li>・虐待の疑いがある場合は、関係機関（子ども相談センター・保健センター）と連携して、適切に対応している。</li> <li>・今後は、登降園時の子どもの様子や長欠児の理由と対応（家庭訪問や電話連絡）などを記録し、関係機関と連携をさらに密にして、より適切に対応することを望む。</li> </ul>	

		評価結果
A-3 保育の質の向上		
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
	（コメント） <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間・月間・週間・個別の指導計画を実施後に、「保育士自己評価表」で自己評価・反省を行って半期ごとに振り返り、改善点や課題を明確にして、保育の実践に活かしている。</li> <li>・年間研修計画に沿って外部研修を受講し、伝達研修で他の職員に周知して知識・スキルの向上を図り、保育内容の充実につなげている。</li> </ul>	

		評価結果
A-4 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1) 子どもの発達・生活援助		
A㉑	A-4-(1)-① 体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる。	a
	（コメント） <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもへの否定的・威圧的な言葉遣いや、子どもの人権を損なう不適切な対応の防止について職員研修を行い、虐待の防止と早期発見に努めている。</li> <li>・就業規則中に、「対象者に対して虐待と思われる行為をしたとき」を懲戒解雇事由として戒めている。</li> </ul>	

## 利用者(保護者)への聞き取り等の結果

### 調査の概要

調査対象者	四貫島保育園に通園させている保護者65世帯
調査対象者数	保護者 65名
調査方法	保育園には、利用している保護者の世帯ごと、登降時を利用し受取人払いの封書を添えてアンケート用紙の手渡しを依頼した。回収には、保護者の便宜を図り、園にはアンケートポストを用意してもらい、厳封された回答を入れてもらえる準備をお願いし、また直接郵便で機関に送ることも可能であることを伝えてもらった。

### 利用者への聞き取り等の結果(概要)

児童数78名 1世帯1アンケート65通を配付 うち46通回収 回収率70パーセント

#### ○満足度100%は 4項目

- ・保育園に入園した際に、保育の内容や方法について、説明がありましたか。
- ・保育園の理念や方針について、園から説明がありましたか。
- ・献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容がわかるようになっていますか。
- ・給食のメニューは、充実していますか。

#### ○満足度90%以上は 11項目

- ・入園前に、あなたの都合や要望にあわせた見学を受け入れてくれましたか。
- ・入園時の説明や、園の子どもたちの様子を見て、子どもを預けることへの不安が軽減しましたか。
- ・入園後も、保育園やクラスの様子などについて、「園だより」、「クラスだより」等を通じて、判りやすく伝えられていますか。
- ・園の保育について、あなたの意見や意向を伝えることができますか。
- ・お子さんや家庭のことについて相談した内容が、他人に漏れていたというような経験はありますか。(いいえ)
- ・園内で感染症が発生した際には、その状況について必要に応じて連絡がありますか。
- ・健康診断の結果について、園から伝えられていますか。
- ・お子さんの給食の食べ具合は、必要に応じて連絡されていますか。
- ・送迎時の保育士との話や連絡帳などを通じて、園や家庭での子どもの様子について情報交換がされていますか。
- ・日常的な情報交換に加え、別の機会を設けて相談に応じたり、個別面談などを行ったりしていますか。
- ・懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がありますか。

#### ○自由記述の内容は

- ・子どもが自由、伸び伸び、生き生き、元気、楽しそう・・・。
- ・先生全員がクラス関係なく子どものことを把握している。
- ・子どもの様子を伝えてくれ、相談に乗ってくれる。
- ・1歳児～5歳児までの異年齢交流があり一緒に遊ぶなど関わりが多いので子どもの成長に良い。
- ・行事や季節のイベントが多く色々なことを経験させてもらってる。
- ・先生たちがアットホームで相談に乗ってくれるなど雰囲気が良い。
- ・4歳頃からの午睡は、個人個人でお昼寝あり、なしを決めてほしい。

## 福祉サービス第三者評価結果報告書【受審施設・事業所情報】 における項目の定義等について

### ①【職員・従業員数】

●以下の項目について、雇用形態（施設・事業所における呼称による分類）による区分で記載しています。

▶正規の職員・従業員

・一般職員や正社員などと呼ばれている人の人数。

▶非正規の職員・従業員

・パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託などと呼ばれている人の人数。

### ②【専門職員】

●社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、訪問介護員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、社会福祉主事、医師、薬剤師、看護師、准看護師、保健師、栄養士等の福祉・保健・医療に関するものについて、専門職名及びその人数を記載しています。

### ③【施設・設備の概要】

●施設・設備の概要（居室の種類、その数及び居室以外の設備等の種類、その数）について記載しています。特に、特徴的なもの、施設・事業所が利用される方等にアピールしたい居室及び設備等を優先的に記載しています。併せて、【施設・事業所の特徴的な取組】の欄にも記載している場合があります。

	例
居室	●個室、2人部屋、3人部屋、4人部屋 等
設備等	●保育室（0才児、1才児、2才児、3才児、4才児、5才児）、調乳室、洗面室、浴室、調理室、更衣室、医務室、機能訓練室、講堂 等